

こどものへや

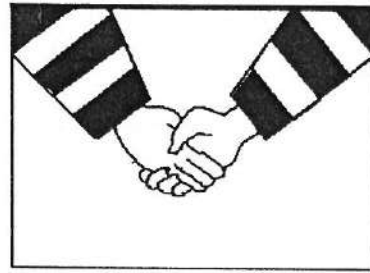
発行責任者

滝川郁子

〒239

横須賀市長沢 87-2

TEL. FAX (0468) 49-8349



阪神大震災からの教訓

阪神大震災の被害の大きさは、言葉ありません。「お見舞い申し上げます」という言葉が虚しく響きます。義援金を送ることしかできないことを、もどかしく思います。私たちと同じ小規模作業所も多く被災したとのこと、再起するには大変な苦勞があると思います。しかし若い方々がボランティアとして参加していることや、地域の人々の助け合っ姿を見ていると、きつと新しく出発できるだろうと、希望が湧いてきます。

さてそれでは、『こどものへや』ではどんな備えをしているかと言え、これが「全く無し」というお恥ずかしい状態です。広域避難所さえ確認していませんでした。そこで、さっそく行政センターと野比消防署へ伺いお聞きしたところ、長沢の避難場所が長沢中学校でした。『こどものへや』から余りにも遠いので驚いてみると、「一応、ここに水や食糧が備蓄してあると考えて下さい」とのこと。避難は近くの学校等、その時々状況に応じて、場所を考えなければならぬということの様です。暖かくなったら一度散歩がてら長沢中学校まで、車椅子で何分ぐら

備えあれば……

見直す作業所の防災対策

所長 滝川 郁子

いかるか、行ってみましょう。野比消防署についても、今までの認識不足を恥じています。車庫を見てびっくり……。救急車があると思わなかったが、ここには配備されていないのです。大震災の時等は、勿論出動は不可能になるでしょうが不測の事故や病気の時は、長瀬の消防署から来て下さることになるそうです。少々時間がかかりそうです。住宅開発等の進んできているこの地域の消防署には、是非、救急車は

エレベーターから出るといきなり白い明るいホールに、「ガアーン」と強烈な何かが迫ってくる。オレンジ・強い黄・スカイブルー・ピンク明るい緑・パープルと、これらの美しい色を自由自在に強めたり、柔らげたりして、アクション・ペインティングの数々の力作が展示されている。

障害者地域作業所「アトリエかもめ」の所員のパステルと水彩画展を、慎吾君、充君と一緒に見て頂いた。車椅子でも丁度見やすい位置に絵が配慮して展示されており、充君の感性にぴったりのかなあと思われ、勝手な想像ですが、オレンジ色が柔らかく広がるグラデーションの絵の前に立ち止まる。ご機嫌な時に見

欲しいと思いました。

『こどものへや』で準備しておく物としては、ペットボトル入りの水二本・懐中電灯・携帯ラジオ等……。所員はカバンの中に、常備薬（全員が、抗けいれん剤を服用しているため）一日分です。食糧については、乾パン等は固すぎて、所員には食べられそうにもありませんし、水で浸したらおいしくなさそうで、考えてしまいます。「こうしたら良いのでは？」というアドバイスがありましたら、お聞かせ下さい。

開館以来毎週一度、総合福祉会館を使用させていただいています。今年度は防災訓練に、できれば参加したいと考えていましたが、十二月二十八日が実施日でした。作業所は、

られる指先でトントンと軽くリズムを取る仕草が見られ、心の中で良かったと思う。静かに流れるBGMが快いのか、慎吾君もびくびくする程落ち着いている。自己満足かも知れないけど、前から簡単に入れるギャ

『無欲無心』
心に何が迫ってくる
「アトリエかもめとフレンド展」を見る
指導員 前田 邦子

ラリーに所員と一緒に行けたらと思っていた。念願がこういう形で叶えられうれしいです。絵心一つなくておこがましいですが、「かもめ」の所員の方々が、無欲無心で形にとらわれない自由な表現を、キャンパス

冬休みに入っていて、参加できませんでした。来年度は参加しやすい日を選んでいただけたらと思っております。小さなことを積み上げるより、他に、今私たちにこそ対策といっても考えられませんか……。『

ブロッコリー

昨年十月の下旬、上野さんの手でブロッコリーが植えられました。それが大きく見事に成長し、二月六日（月）収穫、真っ青にボイルして、所員共々頂きました。味といい、香りといい、取り立ては格別です。この日居合わせなかった人は、次の収穫を楽しみにして下さい。そろそろその日が近づいていますよ……。ブロッコリーの大好きな真一君、楽しみに待っていてね。

にぶっつけ、それが見る側の心にひしひしと伝わり、飽きる事のない温かいぬくもりを感じたのは、私一人だけでしょうか。

ある物は静かすぎる程穏やかな色ある物は何か奇立ちや混乱を感じさせる強い色、又温かい優しい色（感性）が充分に発揮されて、一枚一枚に気持ちが揺さぶられました。「アトリエかもめ」の皆さんありがとう。『こどものへや』の所員も、これからもういろいろなチャレンジ出来るような気がして、元気が出てきました。

二月十日

「ギャラリーくりはま」にて

「ボランティア」ってすてき!!

二十年間 活動を続けて
ボランティア
今 江 恭 子

ダラダラと続けているボランティアもかれこれ二十年になろうとしています。よく続いているなと我ながら感心しています。きつと気付かない魅力があるのでしょうか。

『こどものへや』へ参加し始めて一年ちよつと。とにかく楽しくて自然と足が向くのです。少し疲れる時もあるけれど(年のせい)、又行こうと思うのです。

二十年前、私に何か出来ることがあれば...と、軽い気持ちで障害のある人達と付き合ってきました。しかし、何年か経つうちに、「そうではないんだ。手伝ってあげる、ではなく、共に歩んで(生きて)行かねば社会は良くならないんだ」と気付き始めたのです。

過去には、失敗も何度かありました。相手との間に気持ちを通じず、落ち込んでもう二度とボランティアはしない!と思ったこともありましたが、ボランティアって何だろう?何だろう?と自問自答したこともありましたが、それが経つにつれ、自分が未熟なためなのだとわかったのです。人間関係がスムーズにいくにはどうしたらいいのか、思いあぐねている時、県社協の精神衛生講座を知り、受講したり、又、NHKの通信講座「セルフカウンセリング」を受講したり、カベにぶつかるとそれなりにいろいろな場所で学んで

きました。そうしているうちに、相手の立場になって少しは物事が考えられるようになったと思います。(自分だけそう思っているのかも?)
又、子育てにボランティアの経験がとて役に立ちました。子供達も自分出来ることは何かを考え、一緒にボランティアサークルに参加して、自分の得意な分野で活動したこともありました。そのおかげで家族

朝、作業所に着くと道路に大きな穴が何ヶ所かあいている。朝夕の所員の出入りはどうなるかな...?そんな心配も工事の方々の心配りでちよつと足元を注意するだけで済む。こんな具合で作業所の周辺はここ数ヶ月、下水道工事の為道路の掘り起こしや、通行止めがあらちちで見られます。

ある日の散歩も、いつもの道を行くと工事の最中で、「今日は通れないかな」と遠巻きに見ていると、日焼けした遅い体のおじさんが、「通れるよ」の合図。仕事の手を休め、何気なく物を退けて、車椅子が少しでも通り易くして下さる、やさしい気遣いがとても嬉しいです。工事の為に散歩を休む事なく、この冬もしつかりと防寒の身支度をし

⑤	月	二	十	の	沢	長
で	ま	こ	そ	は	春	指
幸	野	上	員	導	指	導

て、ちよつと寒いけど冬の太陽を浴びに外に出ています。寒くても外が好きな所員、寒風で冷たくなった手それでも寒外平気。日だまりに車椅子を止め、しばし辺りを眺めたり遠くの鳥のさえずりを耳にしたり穏やかな表情の所員。二月に入り、長沢の浜辺や民家の軒先では、ワカメ干しの風景が見られます。冬の荒波にもまれたワカメが、ロープに洗濯バサミで吊るされて風に吹かれ、右に左にと揺れている。いつぱいの日光を何日も浴びあめ美味い「三浦ワカメ」が出来たのです。

◇ ◇ ◇

の間での話題も広がり、一緒に考える場もできました。
結果的には、いろいろな人と交わることで沢山の事を学び、人生が豊かになり、私自身、成長させてもらったと感謝しています。
これからますます、ボランティア

お父さん 出番よ ⑥
が ん ば れ 康 雄
小 田 光 男

今日も康雄はいつもの休日と同様茶の間のボカボカカーペットに寝こんで、テレビを観ている。自分の

は私の生活の一部として、続けて行きたいと思えます。
阪神大震災でも、あらためて日本中が、ボランティアの大切さを認識したのではないのでしょうか。
やっぱり、ボランティアってすてき!!

テレビと勝手に決め込んでいるのでチャンネルを激しく回して、とても一緒に観てはられない。が、注意しているとやっぱり二十歳の若者らしく、アニメやロック系の音楽等が好きな様だ(お母さんと一緒に大好き、これは内緒)。また変えた「このオー」と思いながら、せっかくの休日なので対話を試みた。今一番『こどものへや』の若者の間で流行っているのは、ドライブだそう。それも一番危ない助手席に乗って、半分身を乗り出して、パラパラとはやらないかも知れないけど、観音崎や城ヶ島、湘南海岸あたりをぶっ飛ばす。気分爽快だ、と充君や朋ちゃんも話しているとかいらないのか。今日もやっぱりドライブ、それも午前と午後の二回もした。そしてたまには、箱根の方へ家族皆で遠出もする。だがこれとて『こどものへや』の仲間の中では、以前から流行っているそう。箱根で康雄が一番好きなのは、ドライブと温泉の他にはロープウェイだ。非常に興味を示す。あたりをキョロキョロ見回して、たまに足でトントン揺らして、康雄なりの楽しみ方で楽しんでいる。(ヤメテクレ!!顔では笑っているが、高所恐怖症なのだ)

こういった生活をいつまでも続け

たい、が、親も年々。最近健康を害し、諸々考え、親戚に結婚式があるのを機に、緊急一時保護を試みた。が見事失敗。環境の激変で拒否症状を起こしてしまった。思ってもみなかった事だった。今後は辛いけど親子でこうした事にも挑戦し、乗り越えなくてはならない。
ガンバレ 康雄!!

三月行事予定

- 二日・あじさい交流会
- 七日・職員会議
- 十四日・スポーツ教室
- 十五日・健康診断
- 十七日・おやこ劇場
- 二二日・特総研
- 二三日・誕生会
- 二五日・SKY
- 二七日・五日・春休み

◎ ありがとうございます

- ◎ 介助ボランティア・村田光恵様
- ・山崎和子様
- ・川原和輝子様
- ・大沢央子様
- ・新井光枝様
- ・山本利子様
- ◎ 作業ボランティア・熊沢睦子様
- ・今江恭子様
- ・岩沢美智子様
- ・佐々木百合子様
- ・熊本美枝子様
- ・境母親クラブ様
- ・照葉会様
- ◎ 寄付
- ・川崎伸江様
- ・南厚美様
- ・谷 ゆう子様
- ・宮前浩子様
- ・大野静枝様
- ・松本登美子様
- ・杉原静子様
- ・三浦寿美恵様
- ・堀田園子様
- ・山口美津枝様
- ・一柳 様

こどものへや

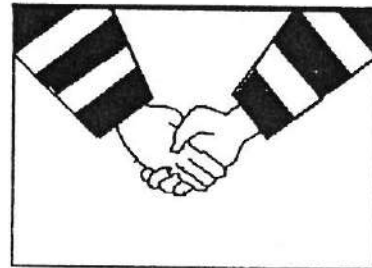
発行責任者

滝川郁子

〒239

横須賀市長沢 87-2

TEL. FAX (0468) 49-8349



こどものへやの今後は？

所員の心の成長を見守って

個人のペースに合わせた、社会参加を積極的に！

所長 滝川 郁子

二年を経過し、最近の所員たちは皆、穏やかな豊かな表情をするようになってきました。不安やいらだちも減りました。

「打てば響く」という言葉があります。その反対側にいるように見える所員たちですが、一人一人ちゃんと自分のペースで響いています。各自の波長を指導員の方たちに理解してもらえて、自己表現ができることが、心の満足につながっているようです。家とも違う、学校とも違う、『こどものへや』の雰囲気が出来上がってきたようです。

そしてまた、他の作業所やボランティアの方々と交流も実を結びつつあります。大勢の人の中へ入ったり、大きな音が苦手な所員たちでしたが、今ではゲームや観劇や音楽会など楽しめるようになりました。

「できない」「きらい」と思っていたことは、単に「慣れていない」だけでした。

二十歳の若者としては、何と云っても、あらゆることに経験不足で今日まで生きています。幼い頃から、少しでも社会性が身につくように、心がけていれば良かったのですが…。健康のことや、他の方々に

言われるくらいに、外に出ようと思えます。

社会見学のように、あらかじめ計画を立てなくても、お天気の良い日に、所員一人か二人で、近くの喫茶店、ミニ展覧会、映画、買い物、公園へと気軽に外へ出てみようと思っています。

小さな経験の積み重ねで、応用力もきくようになり、初めてのことに、平気で対応できる、逞しい障害者になれるように、そんなところを

「あじさい指の会との交流会」
アイディアいっぱいミニ運動会
指導員 鈴木 成子

ボールを作るゲームから始まり、そのボールを使って、鈴割り・玉入れと、わかりやすくスムーズな流れで進み、所員は他のグループと競い合う楽しみを持ちながら、ゲームに参加することができた。

昼食も、やはりグループ毎に分かれて席に着くことになったが、その頃にはすっかりグループの結束が強



『こどものへや』の存在意義を見つけてみたいと思っています。

まり、お互いに食べやすいように席を譲り合ったり、お弁当の確認をしたり、和気あいあいのムードの中で、四人ともすっかりグループの一員になって、落ち着いて食事をすることができた。

午後は少々疲れ気味ではあったが自己紹介・手話コーラスまで、終始手話通訳入りの、はっきりとわかりやすい進行で、四人とも最後までリタイヤすることもなく、一日を終えることができた。

『こどものへや』は、開所して三年目を迎えます。

所員達が、この日の交流会はもちろん、さまざまな場を通して、少しずつだが着実に仲間の輪を広げ、社会を広げてきていることを実感させられた。若い所員達の力強いエネルギーが、もっともっと新しい社会とのつながりを作ってくれそうな気がする。

私のボランティア

ボランティア 沢田 文子

ボランティアという言葉を使っています。ボランティアって何なのか深く考えたこともありませんが、考えるより何か自分の出来ることであれば実行する方が好きなのです。

子供達が小さい頃にお手伝いした子供会の役や学校の役員もボランティアというのでしょうか。私にとつて、その体験の中でたくさんの人達と接し、いろいろな事を学ぶ事が出来たし、生涯の友人となる人にも会えました。

子供達が、寂しい位親離れしてくれ、自分の時間も出来まして何か社会の役に立てたらいいなと思つていたところ、「こどものへや」の話を聞き、訪ねて参加させていただくことになりました。今までほとんど知らないことばかりでした。

所員の皆さんや、常にやさしく時に厳しく接する指導員さんから、多くの事を教えていただきました。

自然がまだたくさん残っている津久井の畑の道を車椅子で散歩する時は、四季の花を眺め、野菜や果物の畑をのぞいたりして、最高に楽しい一時なのです。年のせいで少々きつい坂道も、所員の気分よさそうな顔を見るとつい頑張つてしまします。すれ違う人達もやさしく声をかけて下さり、運転する人も気をつけて通つてくれ温かい気持ちになります。息子達も、親だけで育った訳ではなく、たくさんの人に育てていただ

いたのです。町中で若者が車椅子を押している姿を見ると、自分の子供もあんなやさしい子に育ってくれたらと思つたものでした。

阪神大震災では、たくさんの方々がボランティアとしてかけつめたところ聞きました。中学生や高校生がボランティアを体験するようになれば、いじめの問題はなくなっていくのではないかと気がします。

障害を持つ人達に、自然体で接する事が出来る世の中になればと思つた。真一に対して、私は「姉だぞ」という意識を持つていた。当たり前じゃないか、と思われれるかもしれないが、どうも真一はそう感じてはいないようだ。どうも彼は私のことを「子分」と見なしているらしい。

私たち姉弟の喧嘩は、大抵私の方が分が悪い。真一の、たいして太くもない足から繰り出される「蹴り」はなかなか痛い。こちらが騒いで文句を言うと「そんな所にいる方が悪いんでしょ」と言うように、すましていて。眠っている者を起こす時、どいて欲しい時など、いろいろな場面で「真ちゃんキック」は活用されている。その応用編として、ふすまを開ける、更には障子を破る(ノ)こともあるのだ。障子紙に足を突っ込む感触に加えて、家中の者が大騒ぎするのが、真一にとって快感なのでは？、と私はニラんでいる。

ます。少しでもお手伝いが出来るのは、健康体であればこそです。私は自分自身のために、細く長く続けることができたと思つています。

所員は みんなグルメです

給食ボランティアに谷さんと宮前さんが来て下さる事になって、初めての時より二回目、二回目よりは三回目と、回を重ねる程に所員はすっかり慣れ親しんで、お二人の台所の動きを察知し、楽しみにして散歩に出かけます。帰って来ると美味なる食事が待っている事をよくわかっています。玄關を開けると温かい香りが部屋中漂い、それにつられて、

ところで、私は学生なのだが、最近なんだか忙しい。夕食も一人淋しくとる事がほとんどだが、週に二回は滑り込みセーフで、家族と食事をする事ができる。だが真一の向かいの席が愛そうでもダメ。が親分のイ中は、「ごレビ」で一分は悲しい。

お姉姉	中	野	立	真	理
-----	---	---	---	---	---

我が家は皆、真一に弱く、甘い。父も母も私も、「しーんちゃん!!」と呼び掛ける声が甘ったるい。自分の声に、自分で気持ち悪くなつてしまふ位だ。しかし真一は何しろ親分

セッティングが終わらない内にテーブルにつく所員もいます。毎回きめ細かいヘルシーメニューで、真心をそのまま食卓へ届けて下さいます。色取りや味覚をゆつたりと楽しんで思う存分幸せな時を感じています。

二 月の レ シ ビ

- ◎ ひじきごはん (豚肉・にんじん)
- ◎ コロッケ (じゃがいも・たまねぎ)
- ◎ ほうれん草ソテー (にんじん・グラッセ)
- ◎ スープ (昆布・卵)
- ◎ アップルケーキ (デザート)

三 月の レ シ ビ

- ◎ てんぷらうどん かき揚げ (貝柱・玉ネギ)
- ◎ ほうれん草・しいたけ にんじん・ナルト・卵
- ◎ オレンジケーキ (デザート)

四 月 行 事 予 定

- 三月二十七日～四月五日 春休み
- 十一日・職員会議
- 十八日・スポーツ教室
- 二十日・作業所連絡会
- 二二日・社会見学

◎ ありがとうございます

◇ 介 助 ボ ラ ン テ ィ ア

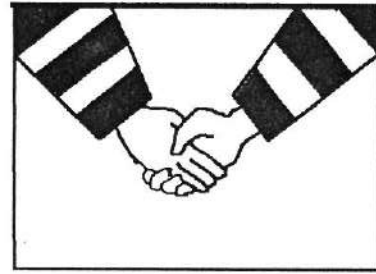
- ・ 今江恭子様 村田光恵様
- ・ 山崎和子様 川原和輝子様
- ・ (音楽教室) 山尾様
- ・ 大沢央子様 新井光枝様
- ・ 山本利子様 大野静枝様
- ・ (給食) 谷ゆう子様 宮前浩子様
- ◇ 作業ボランティア 最上亮子様
- ・ 今江恭子様 山口美津枝様
- ・ 岩沢美智子様 松本登美子様
- ・ 石田妙子様 熊本美枝子様
- ・ 三浦寿美恵様 杉原静子様
- ・ 境母親クラブ有志様

◇ 寄 付

- ・ 森田洋子様 岩沢正子様
- ・ 中井昌子様 高橋恵・純也様
- ・ あいむ様 斉藤浩子様
- ・ 蔵重友子様 広川るり子様
- ・ 大古スミエ様 勝又秀夫様

こどものへや

発行責任者 滝川郁子
〒239 横須賀市長沢 87-2
TEL. FAX (0468) 49-8349



三年目、さらにさらに飛躍を!

『こどものへや』運営委員長 松田 直

今後のへやの課題は?

『こどものへや』が難産の末に誕生して満二年が経過し、所員は全員が成人に達しました。この二年間、所員も家族の人も指導員の方々も、皆健康を大きく損なうことなくやってこれたことを何よりもまず嬉しく思います。本当に皆様のご努力の賜物だと思っています。

とでした。今はまさに第一ラウンドの正念場だと思います。皆様からの一層のご支援を心からお願い申し上げます。

話は変わりますが、私は二カ月前に、ある重症心身障害児施設を見学する機会を持ちました。開設して数年しかたっていないとのことと

充が二十歳を迎えた時、「これはいよいよ選挙権を得るのだなあ」と感慨深いものがありました。障害の重い人ほど、法律や制度による社会のバックアップが必要で、そのような社会にするために、一番投票したいのは、充のような最重度の障害者だろうなと思います。でも投票場へ行ったらとしても、全く何も表現できない充を前に当惑されるだけだろうとか、郵便投票という手段もあるとか、あれこれ考えましたがまとまりませんでした。

そして統一地方選挙の時期となりました。迷って家族の考えを聞きました。主人も祖母も「充に誰を選んだらよいのか、考える能力が無いのに権利だからと、無理に投票させるのも不自然なのではないか。もつとゆったりと考えればいいのでは……」

した。入所している人は、若い人で二十歳代で、三十代・四十代の人も大勢おられました。

デイルームでの昼食場面をしばらく見せてもらったのですが、食べる時の姿勢やスプーンなどの道具類に関しては、園生一人一人について、食べやすいようにとの配慮が細かく実践されていることがよく分かりました。

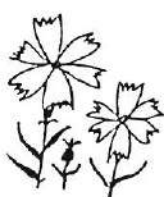
しかし、全体として職員の話かけが少なく、私には気になりました。もちろん、私のような変な髪を生やしたおじさんがじつと見ているので、若い職員にすれば、いつものように言葉を交わさなかったのか

も知れません。その事情は私にもよく分かりますし、言葉かけが多ければ多いほどいいと考えているわけでもありませんが、園生の立場からすれば、いつもと違う時こそ、身近な職員のごく普通の言葉が欲しいのではないのでしょうか。

『こどものへや』では、所員一人一人の気持ちに最大限尊重しつつ、日中の生活に工夫が重ねられていきます。この体質を、規模が今よりも数倍大きい通所施設にまで、維持するにはどうしたらよいでしょうか。そのようなことについても、考えるべき時が来たように思っています。

お年寄りや障害者に、やさしい思いやりのある福祉社会の実現のために頑張ってもらいました。〇〇をよろしく願いました。『こどものへや』に通ってよかった。見ていて思わずニンマリ笑ってしまいました。障害児を育ててきた家族にとっては、このような表面的な声かけは「ちよつと違うんじゃない」と言うのが実感です。この感覚的なズレが少しでも縮まるような人を、充のためにも選ばなくてはと思いました。

(所長 滝川郁子)



充と選挙

充の乗った車椅子を押して、祖母(七十二歳)が散歩に出かけた時、二人の横を選挙カーが、「〇〇は、

充が二十歳を迎えた時、「これはいよいよ選挙権を得るのだなあ」と感慨深いものがありました。障害の重い人ほど、法律や制度による社会のバックアップが必要で、そのような社会にするために、一番投票したいのは、充のような最重度の障害者だろうなと思います。でも投票場へ行ったらとしても、全く何も表現できない充を前に当惑されるだけだろうとか、郵便投票という手段もあるとか、あれこれ考えましたがまとまりませんでした。

ポランティアをしつつ

山崎 和子

『こどものへや』へは、須軽谷の農道の景色を楽しみながら、ゆつくりと行きます。

今日は満開の桜を見ながら、特に『こどものへや』の近所の餅菓子屋さんの前の桜は見事で、花吹雪の中幸福な一時を過ごしました。こうして三年目となったポランティアの一日が始まりました。

ポランティアでの私は、その時によつて作業が介助かにまわります。作業は、アイロンかけとか、簡単な仕事しか出来ません。介助といえ、未だに所員の皆の表現が良く分からないで、ウロウロしています。

『こどものへや』は環境に恵まれ午前中の散歩は、車椅子の所員も私達も畑の様子や木々の緑を楽しんで過ごします。

春はそよ風の中、夏の暑さ、木々の色づく秋、そして冬の寒さの中にも元気に散歩へ参ります。

さわやかな風や、冷たい風を頬に受け、陽の光を沢山受けて、所員皆が一回りたくましくなったように感じるのは、私だけでしょうか。

スポーツ教室では、他の作業所の方達といろいろなゲーム、お誕生会等に参加します。沢山のお友達の中で過ごす一日は、心強くもあり、励みにもなります。

『こどものへや』が生まれた時、

私も微力ながらお手伝いをさせていただきたいと、進み出たのは良かったのですが、自分の力量の無さにもめげず、又

また来てね

角野 先生

三年目の始まった四月六日の午後突然のお客様が見えました。養護学校の角野ひろ子先生です。今年度より、南養護学校の方へ移られるという事で、お忙しい合間をぬって、ご挨拶にきました。二階のお母さん方も下りて来て、ひとしきりおしゃ

四月十四日(金)、不入斗総合体育館で行われた大相撲横須賀場所を慎吾君、康雄君、真一君の三人で観戦して来ました。

力士のぼりがはためく中、親切なスタッフの案内で入場。二階までエレベーターで上がり、さらに階段を車椅子を抱えてもらって、やっと一番上の段の招待席に到着しました。

会場の中央には、屋形や土俵が立派に設けられており、場内放送で相撲についての丁寧な説明の後、いよいよ幕下の取り組みが始まりました。康雄君はいつもと違う場所のせいか、土俵上をチラチラと見ながらも

ますます磨きがかかってきた所長の毒舌!! にもめげず、指導員の方や、所員のお母様の温かな励ましに支えられ、楽しくポランティアを続けています。

働きながらの参加ですので、二年経過といっても、日数は「ポチポチでんなん」といったところです。

べりが始まりました。先生とお母さん方は友達のようにお話しをされるので、私などはいともうらやましく思っています。角野先生には、実習生の付き添いで来られた折、いろいろな事を教えていただきました。開所して間もない頃で、職員も無我夢中の中、私達を認めて下さった上で何気なくヒントを下さいました。丹精こめて咲かされたでしょうシンピジュウムを惜しげもなく切つて持つて来て下さった事にも、先生のお人

下を向きがち、慎吾君は初め少し落ち着きませんでした。しばらくすると力みが取れてきて、明るい会場を見回す余裕が出てきました。その中で一人、真一君は沢山の人の中に

大相撲観戦記

いるのを楽しんでいるようでした。席からは土俵があまり良く見えなかったもので、途中から全体が良く見える場所に移動し、眼下に土俵をしつかりととらえ観戦。行司の「のこ

柄を感じます。ますますのご活躍をお祈りします。

(指導員 相川 英里子)

やっぱり速い 避難場所 (長沢中学校)

散歩にはもってこいの春の日、四月十三日に、避難場所の長沢中学校へ行ってみました。行きは、散歩の時によく通るグリーンハイツの間の道路を通った。車道と歩道が分かれているので、車椅子で安心して移動できる。途中から、一方通行の狭い道に入ったが、車の量は多くない。急な坂があり、少し気になった。所用時間、四十分。帰りは旧道を通ってみた。交通量はかなり多い。平らなのだが、道幅が狭いために歩道は無く車椅子では歩きにくかった。所用時間、三十分。地震等の災害が起きた時、これらの道路を車椅子で移動す

った、のこった」というかけ声に合せて頭を振って応援しました。幕下の取り組み、初切りが終わる頃には全員席を離れ、一階まで下りました。幕内土俵入り、横綱土俵入りは正面横側から見学。玄關近くでは、西側の大勢のお相撲さんが出入りしており、大きな喧嘩を間近で見ることができたのは感激でした。朝十一時に集合しての観戦で、少々疲れが出てきたので、取り組み表の前で記念撮影をし、二時半頃には引き上げて来ました。

(指導員 中田 光子)

るのは、ほとんど不可能に思えた。咲き誇る花々と、春ののどかな雰囲気。身を委ねて受けとめ、満足した表情を浮かべている所員を見て、そんな日の来ないことを祈っていた。

五月行事予定

- 二日・職員会議
- 十日・職員と親の懇談会
- 十二日・浦賀生協店頭販売
- 二十日・SKY講演会
- 二三日・スポーツ教室
- 二四日・山鳩話し合い・特総研
- ? 日・社会見学

◎ ありがとうございます

◇ 介助ポランティア

- ・ 今江恭子様
- ・ 蔵重友子様
- ・ 沢田文子様
- ・ 山本利子様
- ・ 新井光枝様
- ・ 成枝直美様

◇ 音楽教室

- ・ 大沢央子様
- ・ 谷ゆう子様
- ・ 三浦寿美恵様
- ・ 松本登美子様
- ・ 最上堯子様
- ・ 山口美津枝様
- ・ 細野清美様
- ・ 山崎和子様
- ・ 境母親クラブ有志様

◇ 寄付

- ・ 滝川登喜枝様
- ・ 川崎伸江様
- ・ ウクレレバンドフラサークル
- ・ 木塚八重子様
- ・ 船山秀子様
- ・ 蔵重友子様
- ・ 湘南信用金庫様
- ・ 熊本美枝子様
- ・ 今江恭子様
- ・ 熊沢睦子様
- ・ 垂見和子様
- ・ 照葉会様

こどものへや

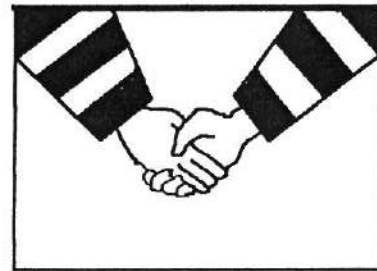
発行責任者

滝川郁子

〒239

横須賀市長沢 87-2

TEL. FAX (0468) 49-8349



社会見学の報告

近い所にも楽しいこといっぱい！

その①

昨年に引き続き、「電車に乗って横浜へ」社会見学を計画していたものの、このところ世の中を騒がしている一連の事件の影響を考え、急きよ市内見学へと変更し、いろいろと楽しむことになりました。

四月二十一日（金）、この日

参加した所員は滝川君と中野君の二人で、お供は指導員の前田さんと私の二人でした。初夏を思わせるような日差しの中、十時に横須賀駅に着くと、身障手帳を片手に久里浜までの往復切符を買い、早速電車に乗り込みました。流れていく外の景色を見ながら、しばし電車の揺れを楽しみました。横須賀駅に戻り、昼食までの間、横須賀港に浮かぶ大きな船を見ながら、臨海公園をのんびりと散歩しました。途中、かわいい犬が寄ってきて、中野君は手をペロペロと舐められ、うれしそうにニコニコ顔で頭を振って（喜びの表現）いました。そろそろお腹もすいたし、のども乾いたところとレストランに向かいランチタイムのバイキングをおいしくいただきました。二人ともテーブルマナーがとても良く、軽音楽の流れる中、上手に食事ができました。二人は、しっかりと元を取ってレストランを後にしました。その後『ダイエー』にちよつとだけ寄り、エレベーター越しに高い場所からの景色を見、エレベーターの乗り心地をも、楽しんでしまいました。中野君はここでも頭を振って喜んでいました。さて次に行った所は三笠公園で、

流れる水に手を触れると、とてもうれしそうにしていました。音楽に合わせた噴水のおどりを、なんともいえない良い表情で見上げていた滝川君は、風向きが変わり、水しぶきを浴びた途端、フツと笑みがこぼれま

五月十六日（火）、鈴木幹大君と福谷慎吾君の、二度目の社会見学です。場所は汐入の『ショッパーズラザ』。当初の予定では横浜でしたが、何かと物騒な御時世である事、又雨模様だったので、「近場でゆつくり過ごしましょう」という事になりました。

十時三十分、センタープラザで待ち合わせ。まず慎吾君、爽やかな表情で登場、すぐに幹大君が二歳の男の子を連れのお姉さんも一緒に、いつもの静かな笑みを浮かべて現れました。

若者二人とおばさん三人の、楽しい一日のスタートです。「お茶しようか」「フードワンダーランドに行こう」…。若者はアイス、おばさん達はコーヒィ…。頭上から素敵な音楽が流れ、慎吾君の後ろにはヤシの木が一本…。時々手を伸ばしては、さわり「ニヤリ」「おっと実が落

した。

近くの社会見学でしたが、天候にも恵まれ、何をしても何を見ても、一日中楽しかった中野君と、朝は少し機嫌が悪かったけれどもいろいろなものを見たり触れたりしているうちに、表情を和らげてきて帰る頃にはいい顔をしていた滝川君と、ちよつと疲れたけれども一日を過ごすことができました。



指導員

植木 智子

社会見学の報告 その②

「今度は友達と一緒にぞー！」

いけない」「慎吾君にはあんなの着せたいネ。幹大君はあれかしらネ」「お母さんと、お揃いでも良いよネ」「等々、おばさん達勝手にベチャクチャ、楽しませて頂きました。

そろそろお昼、何にしようか食堂街を行ったり来たり、二人の気に入らそうなる健康的なオムライスのお店、「しゃばーるーじゅー」に入

五月十五日、恒例の浅野先生のパン教室が行われました。今回は、サンドイッチ作り…。先生が焼いてきた下さった大きなライ麦パンを、目の前でスライツナと卵とフイッチを作り、両面に生クリッミをぬって、缶詰のナナをのせて、先生特製のかぼちゃのポタージュを添えて、お昼です。一か月ばかり『小さき花の園』でお世話になってきた幹大君の、お帰りのなさいの昼食会となりました。

指導員

相川 英里子

指導員 一重 清子

ボランティアに参加して

境 母親クラブ代表 堀越 君枝

先日『こどものへや』にお伺いした折、部屋の中では美しい音楽が流れ、庭にはさまざまな色の花が咲き乱れる素晴らしい環境の中、ボランティアや指導員の方達が園生の為に頑張っている姿を見、私達も何か応援をしなければという思いにかられました。今までは車椅子で散歩している姿を見、挨拶する程度でした。

今この時代人自分は自分、他人は他人、という縦しか見えていない人間が多い中、他人の為に何かをするということとは尊いことではないでしょうか。

境母親クラブは、現在十六名の会員で、年齢層は幅があり、四十歳、六十歳位の地域のお母さん達の集まりです。健康作りの為に、横須賀近郊の史跡名所をハイキングしたり、手作りで弁当で老人の方達をもてなし、又毎月、老人会・子供会・母親クラブの三者合同で、資源回収を行ったり、町内の行事のお手伝い等も行っております。昨年十二月、会員の方から地域にある『こどものへや』に私達で何かお手伝いが出来ないかしらという意見があり、早速滝川所長さんと相談致しました。車椅子の散歩は、慣れないと無理ということと、『こどものへや』が求めているものは資金であるとお聞きして、バザーの作品作りのお手伝いをするこ

とになりました。アイロンをかける者、ミシンを踏む者、それぞれが自分出来る仕事を分担し、和気あいあいの内に第一回の協力が終了。終了後数人の会員から、「引き続きお手伝いしていきましょう」という声があり、現在に至っております。

暗い事件が多い世の中ですが、一人ひとりが真心を持って、緊張らずに続けていきたいと思っています。『こどものへや』のご家族の皆様、又、それにたずさわっている方々、頑張ってください。母親クラブ会員一同、応援いたしております。

賛助会員募集のお願い

『こどものへや』では、親の会と共に、支えて下さる賛助会員を募集しています。

会費は年額 一口 五千円です。ご支援のほど、よろしくお願いいたします。

振込先

横浜銀行 久里浜支店

口座番号

一一五四一二一

コミュニケーションルーム

『こどものへや』

四十年間教員として勤め、退職してもう十三年が経ちました。四十年の間には、いろいろ考えさせられる問題に直面しましたが、何と云っても孫の充が、点頭てんかんの後遺症で障害児になったことが、私の考え方に大きな変化をもたらしました。

それまでの三十年間は「ひとりひとりの子どもが持っているものを、十分に引き出すことが教育である」と頭の中では分かっていたても、未熟さと年齢が若かったせいもあって、つい子どもの能力以上を要求し、少しでも多くのことを覚えさせたい、少しでも早く上達させたいといわゆる知識偏重の教育をしていました。

しかし一生懸命に生きている、充のけなげな姿を見ていて、何もできなくてもそれが人間としての価値には何のかわりもないことが、実感として分かりました。ひとりの子どもの個性を大切にする必要を自覚することになった。直接子どもには接しませんでした。この考えをもとに、学校運営にあたってきました。

② 一 ち 番 出 家 私 村 中 充

退職してからは個人として少しでも多くの方達に、障害児のことを知ってもらおうと努めてきました。娘が『こどものへや』の所長をしているので、そこを窓口として、私の友人をはじめ多くの方々に、ご支援をいただき深く感謝しています。

今、母親達はここの子どもたちのために基盤のしっかりした施設を作らねばと苦勞しています。さいわいご指導、ご相談にのっていただけた先生方にも恵まれ、本当にありがたいと思っています。私は「孫がかわいい」という祖母としての立場から、援助し、協力していきたいと思

六月行事予定

六日・職員会議

十三日・スポーツ教室

十五日・障作連定例会

二三日・親の会 研修

(ロシナンテ見学)

二八日・特総研

・山鳩ミーティング

三十日・代休

未定・社会見学

◎ ありがとうございます

◎ 介助ボランティア

・沢田文子様

・川原和輝子様

・成枝直美様

(音楽教室)

・山本利子様

・新井光枝様

(給食)

・谷ゆう子様

(パン教室)

・浅野和子様

◎ 作業ボランティア

・吉富あや子様

・岩沢美智子様

・熊本美枝子様

・杉原静子様

・石田妙子様

・垂見和子様

・山口美津枝様

◎ 寄付

・山口宏美様

・角野ひろ子様

・三浦藤沢信用金庫様

こどものへや

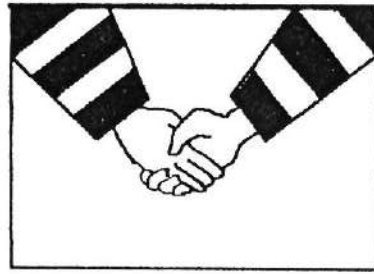
発行責任者

滝川郁子

〒239

横須賀市長沢 87-2

TEL. FAX (0468) 49-8349



ロシナンテ見学

ロシナンテは、相模原市大島に、昨年四月にオープンした、重症心身障害児者の通所更生施設です。二十三日（金）に、指導員二名と母親四名とで見学させていただきました。皆の感想をまとめました。

新しい建物で 伸び伸びと

今までに、いくつかの施設を見学させていただきましたが、

きりでき、精神的に自立ができていくためと感じました。

それぞれ個性豊かで特徴がありましたが、『ロシナンテ』は、施設長の佐藤様が「女性の目で建てました」とおっしゃったその言葉どおり、細部に温かい心遣いが、溢れるものでした。車椅子が移動しやすい広い空間を作るために、机や椅子、着替えや作業用の品物を入れておく棚等には部屋の隅に移動出来るように、キャスターが付き、指導員用の丸椅子は机の下に納まるようになっていました。車椅子から降りて、身体をゆつくり伸ばせる広い畳の部屋には、二畳分の掘り炬燵、トイレの数も多く中にはベットが置かれている等、利用者の立場に立った配慮がありました。

日課としては、陶芸や機織り、パソコン等、能力に応じて行われていました。何事も決して強制はせず、一人一人の気持ちを大切にされているそうです。そういえば、昼食の時間（メニューは、冷やし中華と肉だんご入りスープ）おいしそうな食事を横目に、指導員の方とピアノで遊んでいる方がいました。

私たちも施設をつくる準備を進め

また指導員の方々の心意気が、随所に感じられました。掃除の行き届いていたこと。これは利用する方々への安全確認も含めて、とても大切なことだと思います。ドアアワードアーの考えのもと、マイクロボス五台での送迎には、ドライバー・添乗員と、男女の別なく活躍されていること。利用者の方々の顔に、余裕の表情があつたのは、ドアアワードアーで、家庭と施設の切り替えがはつ

自分も確実に年を取る、いつか誰かの世話になる時がやってくる。そんな思いからお年寄りの介護講座に通ったのが、ボランティアに入るきっかけでした。

机上の勉強の間は、早く現場で活動したいと気負っていましたが、いざその時がきて、訪問介護の実習に行き、在宅介護の実体を目の当たりにし、自分の力無さと無知に恥入った事でした。

「一年振りに外の空気と景色に触れました」と言ってくれた人、久しぶりのお風呂に、全身で喜びを表してくれた人、感動という言葉には

ているお話をしたところ、いろいろご指導下さいました。ご苦労されたお話の時には、涙ぐまれました。本当に大変なことが、おありになったのだと思い、私たちも少々の困難には負けないで、実現に向けて努力しなくてはと決意を新たにしました。

参考図書も紹介して下さい、今後とも相談にのって下さるとのこと、とても心強く思いました。帰り道、振り返って見た『ロシナンテ』は、「頑張れ」と私たちを応援してくれているように、そこに建っていました。（所長 滝川郁子）

？ヤ チ ポ 手力 濡れ

愛菜園（地域作業所）が参加できる津久井にある市民農園。本年より始まり、栽培は専門家がして下さり、収穫のみの参加（加えてよい）の一回目の作物はカボチャであった。

おいしいと評判の津久井のカボチャである。前日、問い合わせたところ九十個ぐらい実っていて参加した作業所で分け合うという。それではと小雨のばらつく中、大きなリュックを背負って畑へ。畑は石段を登らない

と行かれず、なおかつ斜面だったので、残念ながら所員は近づけず。六個の立派なカボチャをいただいた。他の作業所も次々に到着。カボチャは足りたのであるのか。午後からはとれたてのカボチャで蒸しパンと煮物を作った。新鮮かつ栄養価の高いおやつとなった。食べる場合に重点的に参加する所員たちは、満面に笑みを浮かべて、大満足であった。

次回の収穫物は、何かな、楽しみに！

程遠い日々だった私には、とても満ち足りた時でした。

が自然体で参加出来る様な、そんな社会がくる事を願っています。

しかし、日本人はボランティアと聞くと、ま

初めてスポーツ教室のお手伝いに行った時は、手も足も出ず、指導員さんの影に隠れてうろろ、普段は元気な口も引つ



んだまま未だに戸惑いの連続です。『こどものへや』のお手伝いは、スポーツ教室ですが、早く一人の所員さんと仲良くなりたいと思っています。皆様の中に入れていただいて、本当にありがとうございます。

ア イ 美
チ 直
ポ 枝
手 成
力 成
濡 成

ず身構えて人に「活動」と話すと何かが変わる。見られ、「いわ」のてくる。「チヨットやむきになつて説明して自分の姿に、なぜか悲しくなつてしまう。普段着のまま、買い物袋を下げて、チヨットの時間皆んな

七沢療育園に三ヶ月間入所

朋美さんは三月二十二日から入所しました。『こどものへや』の所員では、初めての利用です。その間の生活の様子をお母さんにお聞きしました。以下は指導員との対話の内容です。(○は指導員からの質問、◎はお母さんの答えです)

入所の目的は

○：すっかりスリムになりアトピーもきれいに治り、二十歳の娘さんらしくなりましたね。あらためて先ず入所の目的をお聞きます。

◎：一年程前より、夜中にも騒ぎだし、寝なくなり、発作か感情の表れなのか区別できずにいました。検査もここ何年もしていないので薬の調整も兼ねて、入所する事にしました。アトピーの治療と体重のコントロールもできればお願いしたいと思いました。

状態は安定してきていますが、薬はもう少し時間をかけて調整して下さるのと、これから月一度、病院の方へ通います。

○：体重のコントロールは、どのようになされたのでしょうか。参考になる人が『こどものへや』の関係者には大勢いると思いますが。

◎：やはり食事のとり方でした。時間は規則正しく。それに肉類はほとんどなく、魚中心のメニューでした。朋美は魚が嫌いではなかつたので助かりました。ご飯はお茶わんに毎回、野菜等の他のおかずはたつぷりありました。三ヶ月で三・八キログラム減量しました。

○：その食事ですが、スムーズに出来ましたか。

◎：さすがにプロですね、好きな物はアツという間に。嫌いな物は、時間が経ったようですが、ほとんど食べられた様です。

○：アトピーはどうでしたか。

◎：検査をしていただいた結果、五項目のアレルゲンが見つかりました。食物の方では大豆がそうでした。大豆ぬきの食事です。顔の塗り薬も変わりました。手が顔に届かないように、工夫をしていただきました。

○：ケアをして下さる職員さんには、すぐなじみましたか。

施設・設備と生活状況は

○：一日のスケジュールはどんなのですか。良かった点、不都合な点は。

◎：六時に起床、七時過ぎから朝食十時から個別指導、十一時過ぎから昼食、十四時に全体療育、十七時から夕食、二十一時就寝です。

良かった点は、起床するとディールームに園生が集まり、就寝までいつも誰かがそばに居たこと。さわられたり、話を聞いたりして、

◎：何人かの方からお聞きしたところ、ニコニコして機嫌が良かったそうです。相手をするとても喜んで声も出ていたと聞きました。

今後の朋美さんと他の参考に

○：入所前と後では、朋美さんが大きく変わったなと感じられる事がありましたか。

◎：入所前は、いつもうとうとしていましたが、薬が合い、とても元気になり、感情面もはっきりしてきました。他の点はまだ日が浅く、はっきりわかりません。

○：さて、朋美さんが居ない間、お母さんはどのように過ごされたのですか？また、お父さんの様子もお聞かせ下さい。

◎：朋美のいる時と余り変わりなく当番の日は作業所、あいている日には七沢へ行ったり、私の通院と過ごしていました。主人も仕事の都合がつくと会いに行っていました。夕食が終わると二人の会話も

ほとんどなく、二階と下とで、別々にテレビを見て、早寝でした。

○：これからは七沢を利用しますか。

◎：親子共、始めて三ヶ月という期間離れての生活でした。お互い淋しくなつたと言つたらうそになります。でもこの貴重な体験を無駄にしない為に、食事・PTの先生から教えて頂いた訓練等を、私なりに家でも出来ればと思つて

います。今後は朋美の状態を見ながら、利用したいと思っています。

○：入所させたいが、施設に預けるのが心配という方に、何かアドバイス等がありますか。

◎：親子共、何か目的をもって利用すれば張り合いも出ると思います。質問を終えて

○：入所中、お母さんの気持ちは大変でしたよね。朋美さんの笑顔が『こどものへや』に帰ってきて、全員が揃いました。私達もとても嬉しいです。梅雨のうつとおしさに負けないよう、元気で楽しく過ごしたいと思っています。

たと思いますがその時の様子は。

◎：「朋ちゃん」と声をかけると声を上げて喜んでくれましたが、相手になって可愛がつてくれる方が側に居ると、私の顔をチラッと見ては相手の方の目を追つて見ていました。

○：連休に一度家に帰って再入所した時、朋美さんはどんなでしたか。

◎：仲間の中に帰ってきたという感じでした。別に淋しがる様子もなく、家にいる時と変わらず、ホツとしました。

七月の行事予定

- 三日・社会見学
- 四日・職員会議
- 七日・朝顔、ほうずき市
- 八日・ハイランドバザー
- ・頌栄幼稚園バザー
- 十日・パン教室、おやこ劇場
- 十一日・スポーツ教室
- 十六日・武山養護学校バザー
- 二十三日・長沢フリーマーケット
- 二十六日・特総研
- 二十八日・デイズニールランド

ありがとうございます

◇介助ボランティア

- ・沢田文子様
- ・川原和輝子様
- ・成枝直美様
- ・山本利子様
- ・新井光枝様
- ・今江恭子様
- ・村田光恵様
- ・山崎和子様
- ・大野静枝様
- ・大沢央子様

◇作業ボランティア

- ・吉富あや子様
- ・岩沢美智子様
- ・熊本美枝子様
- ・杉原静子様
- ・石田妙子様
- ・垂見和子様
- ・山口美津枝様
- ・今江恭子様
- ・境母親クラブ有志様
- ・山崎和子様
- ・松本登美子様
- ・三浦寿美恵様
- ・最上堯子様
- ・細野清美様
- ・堀田園子様
- ・有賀はる子様
- ・熊沢睦子様
- ・照葉会様

◇寄付

- ・山口宏美様
- ・旭製作所様
- ・山田ヒロ子様
- ・福谷タケヨ様